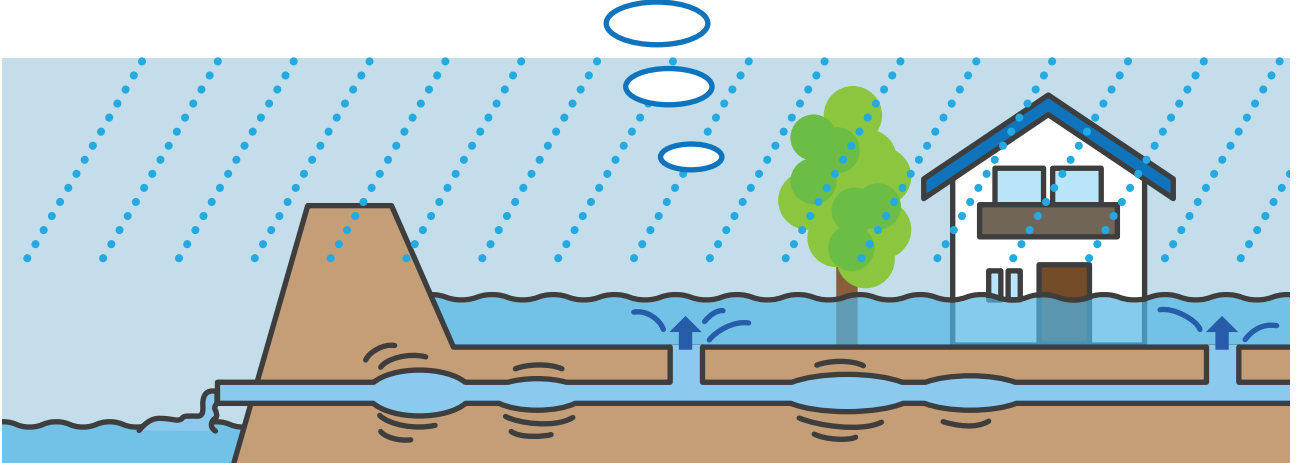




防災メモ

緊急事の連絡先

いざという時のために 家族や近所の人の連絡先を記入しましょう		
氏名・名称	電話番号(携帯電話)	備考

私(家族)の避難先

2階以上の建物に避難できる知人宅など、 連絡先を記入しましょう		
避難先	住所	電話番号(携帯電話)

災害用伝言ダイヤル 171番

●毎月1日、15日に体験利用ができます。

171番

伝言を残したい場合 → 1を押す → 音声案内に従って操作してください

伝言を聞きたい場合 → 2を押す

災害用伝言板(web171)

伝言の登録や確認ができます

事前に登録すると「メール」や「電話」で伝言をお届けできます

詳しくはこちら

いざという時のために、洪水ハザードマップや防災マップの確認しておきましょう

洪水ハザードマップ

地震防災マップ

三宅町洪水ハザードマップ

地震防災マップ

平時から、避難場所や避難場所までの経路に危険な場所がない確認が重要です。また、家にとどまる、職場・学校などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

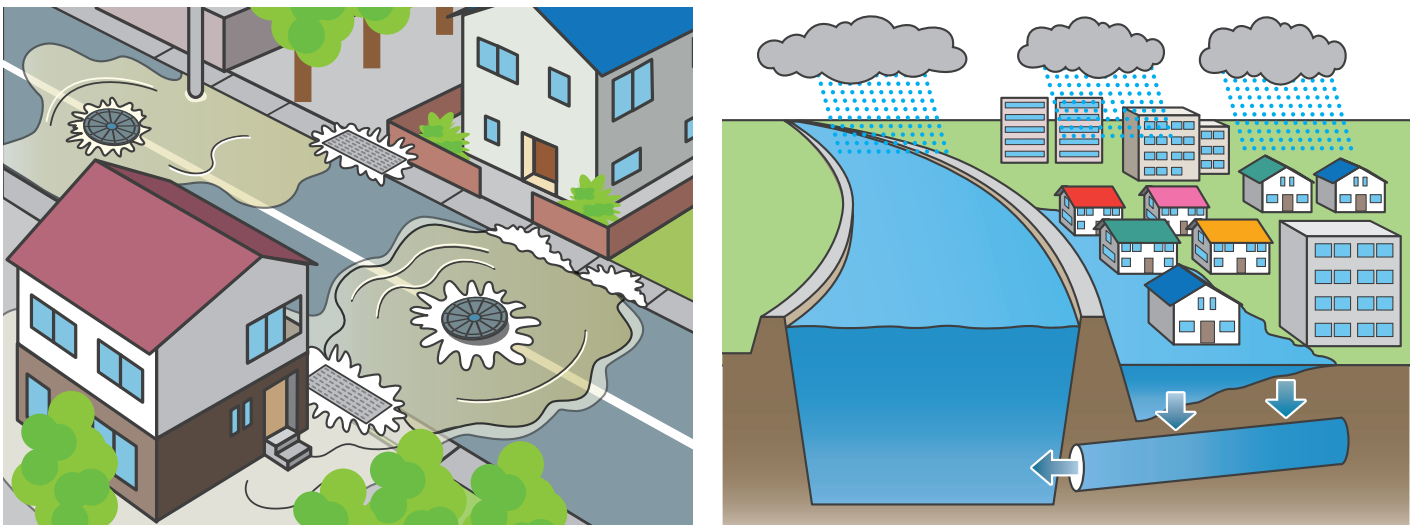
町では、災害が発生したときの避難場所や日頃の備えに役立てられるように、この内水ハザードマップの他に「地震」「洪水」のハザードマップを作成しています。マップは、町ホームページからダウンロードできます。ぜひ、ご活用ください。

水害を知る

過去、町では大雨、台風により甚大な被害をもたらしました。近年、全国各地でこれまでに経験したことのない大雨による水害が頻発しています。今後さらに、町でも大雨や短時間強雨の発生頻度や大雨の降水量などが增大することが予測されます。

内水氾濫と外水氾濫

内水氾濫



下水道施設や水路などの排水能力を上回る大雨による浸水や、河川の水位が高くなり下水道幹線から河川に排水できず、水路やマンホール、雨水ますなどからあふれて起こる浸水。

雨が降り続くと

外水氾濫



川の堤防から水があふれたり、堤防が決壊することで発生する浸水。

河川からの越水や堤防決壊が発生すると洪水ハザードマップの浸水区域に移行します。

■ 河川からの越水又は堤防決壊がない場合

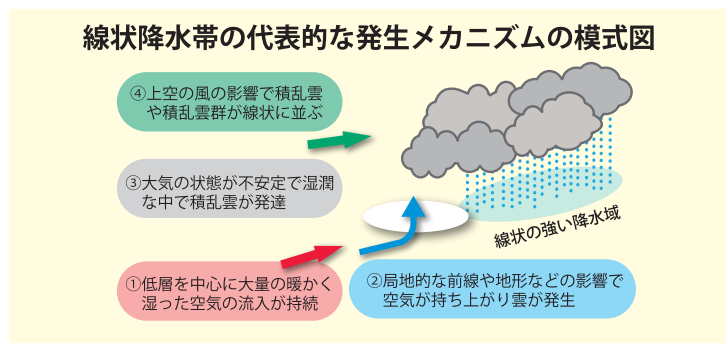
内水ハザードマップを見ましょう。

■ 河川からの越水又は堤防決壊がある場合

洪水ハザードマップを見ましょう。

線状降水帯

線状降水帯とは、集中豪雨発生時によくみられる線状の降水域で、次々と発生する積乱雲が列をなし、同じ場所を通過または停滞することで、線上に伸びた地域に大雨を降らせるものです。



避難について学ぶ

避難の種類

「避難」とは「難」を「避ける」こと、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。普段からどう行動するか決めておきましょう。

町が指定した避難場所への立退き避難

安全な親戚・知人宅・ホテル等への立退き避難

※普段から災害時の避難について相談しておきましょう。

屋内安全確保

※ハザードマップで自宅にいても安全かどうかを確認することが必要です。

想定される浸水深

※浸水継続時間が長い地域では、立退き避難を行わなかった場合、ライフラインが断れたることなどにより避難生活が困難となるおそれがあります。

避難のポイント

正確な情報の入手

テレビ・ラジオで最新の気象情報などに注意しましょう。雨の降り方などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

徒歩での避難が基本

車での移動は緊急車両の通行のさまたげになります。また浸水すると車が動けなくなりますので、特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。

避難する前の確認

避難する前に、電気・ガスなどの火を消し、電気ブレーカーを落としガスの元栓を閉め避難所のイチを確認しましょう。また、親戚や知人などに避難することと連絡しておきましょう。

要配慮者への協力

お年寄りや子供などは早めの避難が必要です。近所のお年寄りが避難する場合には、協力しましょう。

安全な避難路を選ぶ

避難はできるだけたい道路を選び、水路などには十分注意しましょう。

万が一、逃げ遅れたときは

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げましょう。

非常持出品の事前準備を

避難するときの荷物は必要最小限とし、事前に準備しておきましょう。

動きやすい服装での避難を

避難するときは、動きやすい服装で2人以上での避難をこころがけましょう。

インターネットから

風水害は、最新の気象情報などを入手することで、時期や規模を予想することができます。テレビやラジオの報道に注意し、近所の人々と連絡を取りましょう。特に、インターネットやテレビのデータ放送は、自分の知りたい情報を得ることができるなど積極的に情報を集めることができます。

奈良県ホームページ(防災・危機管理)

気象庁ホームページ(気象庁ホーム)

奈良県ホームページ(砂防・災害対策課)

気象庁ホームページ(三宅町の防災情報)

奈良県ホームページ(川の防災情報)

災害用伝言ダイヤル(NTT西日本)

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

録音する時は、1をダイヤル → 自分の電話番号を市外局番から入力する → 録音する

再生する時は、2をダイヤル → 相手の電話番号を市外局番から入力する → 再生する

避難情報の種類と伝達方法

高齢者等避難

災害が発生するおそれがある状況で、避難に時間を要する高齢者等とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は避難の準備を行う、又は自主的に避難するタイミングです。

避難指示

災害が発生するおそれが高い状況で、災害リスクのある場所から全員避難しましょう。

緊急安全確保

既に災害発生または切迫しているため、安全な避難ができない状況です。近くの高さがある建物の高層階に緊急的に避難(車中避難)するなど、命を守るための最善の行動をとりましょう。

伝達方法

みやけ安心メール、緊急連絡メール、防災行政無線、広報車による伝達、有線放送、FM西大和(81.4MHz)、口頭による伝達などみなさんへ伝えられます。

大雨・洪水に関する注意報・警報について

次のような場合に、奈良地方気象台から「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。

大雨・洪水注意報

災害が発生するおそれがある

大雨

大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。

洪水

大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

大雨・洪水警報

重大な災害が発生するおそれがある

大雨

大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。

洪水

大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

大雨特別警報

「警報」よりもはるかに高い危険度

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表。

「洪水」は、各河川において洪水予報や水位情報を発表しているため、特別警報の設定はありません。

情報収集する

警戒レベルについて

大雨のときには、情報を収集し、適切な避難行動ができるように、5段階の「警戒レベル」を用いて、避難情報や防災気象情報などを確認し、とるべき行動を平時のとさから考えておきましょう。

警戒レベル	住民がとるべき行動	町の対応	警戒レベルに相当する気象庁等の情報
5	命の危険直ちに安全確保！ すでに安全な避難先へ移動し、今いる場所よりも安全な場所へ速に移動する	緊急安全確保 必ず発令する情報ではありません。	大雨特別警報 キキクル 指定河川洪水予報 氾濫発生情報

〈警戒レベル4までに必ず避難！〉

4	危険な場所から全員避難 台風などにより暴風が予想される場合は暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報	危険	氾濫危険情報
3	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を現金合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	警戒	氾濫警戒情報
2	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに避難経路の把握手帳を再確認するなど。	—	大雨注意報 洪水注意報	注意	氾濫注意情報
1	災害への心構えを高める	—	早期注意情報 (警報級の可能性)	—	—

キキクル(危険度分布)

キキクル(危険度分布)とは、大雨による災害発生の危険度の高まりをどこで、どのレベルで追っているかを5段階で色分けして地図上で確認できる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

浸水害の危険度

高

危険切迫

危険

警戒

注意

低

今後の情報等に留意

キキクル

検索

雨の強さと降り方

	やや強い雨 1時間に10～20mmの雨	強い雨 1時間に20～30mmの雨	激しい雨 1時間に30～50mmの雨	非常に激しい雨 1時間に50～80mmの雨	猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨
雨の様子	 ・ザーザと降る ・跳ね返りて足元がぬれる	 ・どしゃ降り ・傘をさしていてもぬれる	 ・バケツをひっくり返したように降る ・傘をさしていてもぬれる	 ・滝のように降る (ゴロゴロと降り続く) ・傘は全く役に立たなくなる	 ・息苦しくなるような圧迫感がある ・恐怖を感じる
屋外の様子	 ・地面一面に水たまりができる	 ・道路が川のようにになる	 ・道路が川のようにになる	 ・道路が川のようにになる	 ・道路が川のようにになる

風水害に備える

非常持出品・備蓄品

リュックサックなどに入れておき、避難しなければならぬときに持ち出す「非常持出品」と、避難後の生活を支える「非常備蓄品」の2段階で準備しておくことが必要です。リストを参考に個人や家庭に必要なものをしっかり準備して起きましょう。

非常持出品チェックリスト

チェック欄	品名	チェック欄	品名
貴重品類	現金	生活用品	軍手(厚手の手袋)
	預金通帳(キャッシュカード)		毛布
	印鑑		缶切り
	保険証		ライター、マッチ、ろうそく
	免許証		ナイフ
避難用具	懐中電灯	衣料品	携帯用トイレ
	携帯ラジオ		使い捨てカイロ
	予備電池		ウェットティッシュ
	ヘルメット・防災ずきん		筆記用具
	乾パン		携帯電話(充電器含む)
非常食品	缶詰		下着、靴下
	栄養補助食品		長袖、長ズボン
	アメ、チョコレート		防寒用ジャケット、雨具
	飲料水		
	救急セット		
救急用具	処方箋の控え		
	胃腸薬、便秘薬、持病の薬		
	生理用品		
	紙おむつ(高齢者用、乳幼児用)		

非常備蓄品チェックリスト

チェック欄	品名	チェック欄	品名
飲料水	9リットル(3リットル×3日分)	乾パン	1～2缶
	ご飯(アルファ米)		2～3組
	ビスケット		3週間上下、セーター、フリースなど
	板チョコ		

食料品・生活消耗品の備蓄には「ローリングストック法」が有効です。

ローリングストック法とは、定期的(1か月に1、2度)に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法。食べながら備えるために消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱うことができます。消費期限を考えたが計画的に消費した分は新たに購入するようにしましょう。

家庭でできる浸水対策

ごみ収集袋(45リットル)を二重にし、中に半分くらい水を入れ、水のうを作ります。

水のうと長めの板などを組み合わせ、浸水を防ぎます。

水のうは段ボール箱に詰めることで、強度が増します。

ブルーシートをならべ、レジャーシートで包み浸水を防ぎます。

側溝や雨水ますは、ごみや落ち葉等が詰まると水が流れにくくなりますので清掃しましょう。

豪雨時は、下水が逆流し、トイレやお風呂場、洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがあります。

水をいれたビニール袋をおいておく排水溝から逆流してくる泥水を防ぎます。

風呂の貯水は、下水の逆流防止、生活用水(飲用以外)としての利用などの利点があります。

自主防災組織の協力

●自主防災組織とは

地域住民が連携し自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。

●平常時の活動

①防災知識の普及啓発

②防災訓練や地域の防災安全点検の実施

③防災資機材の備蓄

●災害時の活動

①地域住民への避難の呼びかけ・誘導

②負傷者の救出・救護

③初期消火活動

④避難所の運営

特に大地震のような大規模な災害時は、交通網の寸断、通信手段の混乱、同時多発の火災などで、消防や警察なども、同時にすべての現場に向かうことはできません。そのような事態に備え、地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。

あなたとあなたの町を守るために自主防災活動へ積極的に参加し、

「災害に強いまち三宅町」を作りあげましょう。

三宅町では全自治会において自主防災組織が活動されています。

自主防災